

整形外科卒後臨床研修カリキュラム

研修目標

整形外科が扱う分野は脊椎脊髄外科、関節外科、手の外科、骨・軟部腫瘍、小児整形外科など運動器全般に及ぶ。腰痛、肩こり、四肢関節痛が国民の3大愁訴であることや当院救命救急センターを受診する傷病の割合は運動器が最も多く約4分の1占めることからわかるように、整形外科学に対する正しい理解と適切なプライマリケアの修得が

一般臨床医として社会貢献に寄与するための必須条件である。当科では各分野の整形外科専門医が指導を行い、運動器疾患・外傷を的確に診療する技能、運動機能障害をもつ患者・家族に対する思いやりを養うことを研修目標とする。

*印は研修期間が4ヶ月以上の場合の到達目標を示す

救急医療

一般目標 (GIO)

運動器、外傷の救急に対応できる基本的診療能力を修得する

行動目標 (SBOs)

1. 骨折を念頭においたX線検査を指示できる
2. 関節感染症の症状を述べるができる
3. 脊髄損傷を念頭においた診察ができる
4. 骨折の全身的・局所的合併症を述べるができる
5. 開放骨折を診断でき、その重症度を判断できる
6. 神経学的診察をおこない、麻痺の高位を診断できる
7. 指導医、他科医師と連携して診療をすすめる
8. X線、CT、MRIの読影技術を身につける
9. 患者・家族の苦痛を理解し適切な対応ができる
10. 開放創に対して適切な処置ができる*
11. 骨折に対する初期(応急)固定、および介達・直達牽引を実施できる*
12. 簡単な骨折・脱臼(肘内症も含む)の徒手整復ができる*

慢性疾患

一般目標 (GIO)

適正な診断を行うために必要な運動器慢性疾患の重要性と特殊性について理解・修得する

行動目標 (SBOs):

1. 変性疾患を列挙してその自然経過、病態を理解する
2. 関節リウマチ、変形性関節症、脊椎変性疾患、骨粗鬆症、骨・軟部腫瘍の自然経過・病態を理解する
3. 上記疾患の X 線、CT、MRI、造影像の解釈ができる
4. 上記疾患についての治療方針が理解できる
5. 腰痛、関節痛、歩行障害、四肢のしびれの症状、病態を理解できる
6. 関節鏡検査、関節鏡視下手術の意義と適応を理解できる *
7. 脊椎内視鏡手術の意義と適応を理解できる *
8. 理学療法処方ができる
9. 手術後の運動療法の重要性を理解し、適切に処方できる *
10. 一本杖、コルセット処方が適切にできる *
11. 病歴聴取に際して患者の社会的背景や QOL について関心を示す
12. リハビリテーション・在宅医療・社会復帰などの諸問題を他の専門家、コメディカル、社会福祉士と検討できる *

基本手技

一般目標 (GIO)

運動器疾患の正確な診断と安全な治療を行うためにその基本的手技を修得する

行動目標 (SBOs):

1. 主な身体計測 (関節可動域テスト、徒手筋力テスト、四肢長、四肢周囲径) ができる
2. 骨・関節の身体所見がとれ、評価できる
3. 神経学的所見がとれ、評価できる
4. 適切な X 線写真の撮影部位と方向を指示できる
5. 一般的な外傷の診断、応急処置ができる *
6. 免荷療法、理学療法の指示ができる *
7. 関節造影、脊髓腔造影を指導医のもとで行うことができる *
8. 清潔操作を理解し、創処置、関節穿刺・注入、小手術、直達牽引ができる *
9. 神経ブロック、硬膜外ブロックを指導医のもとで行うことができる *
10. 手術の必要性、概要、侵襲性について患者に説明し、コミュニケーションをとることができる *

医療記録

一般目標（GIO）

運動器疾患に対して理解を深め、医療記録に必要事項を正確に記載できる能力を修得する

行動目標（SBOs）:

1. 運動器疾患について正確に病歴が記載できる
主訴、現病歴、家族歴、職業、スポーツ歴、外傷歴、アレルギー、内服歴、治療歴
2. 運動器疾患の身体所見が記載できる
関節可動域、徒手筋力テスト、反射、感覚、脚長、筋萎縮、変形（脊椎、関節、先天異常）、日常生活動作、歩容
3. 検査結果の記載ができる
画像（X線、MRI、CT、シンチグラム、ミエログラム）、血液生化学、尿、関節液、病理組織
4. 症状、経過の記載ができる
5. 検査、治療行為に対するインフォームド・コンセントの内容を記載できる
6. 紹介状、依頼状を適切に書くことができる*
7. 診断書の種類と内容が理解できる

経験が望まれる症状・疾患

症状

1. 骨折の局所症状
2. 脱臼の症状
3. 関節痛
4. 腰痛
5. 歩行障害
6. 四肢のしびれ
7. 四肢の循環障害
8. 四肢、脊柱の変形*
9. 関節の不安定性*
10. 骨・関節感染症の急性症状*

疾患

1. 成人の外傷

多発外傷、骨盤骨折、四肢の骨折、開放骨折、手の挫滅・切断、四肢関節の脱臼、靭帯損傷（膝・足関節）、脊椎・脊髄損傷、末梢神経損傷*

2. 小児の外傷・疾患

若木骨折、骨端線離開*、上腕骨顆上骨折*、肘内障、先天性股関節脱臼*

3. 感染症

骨髓炎*、化膿性関節炎*

4. 関節疾患

関節リウマチ、変形性関節症

5. 骨疾患

骨粗鬆症、骨壊死症*

6. 骨・軟部腫瘍

骨肉腫*、転移性骨腫瘍

7. 脊椎疾患

椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、靭帯骨化症、脊髄症、脊椎・脊髄腫瘍*

週間スケジュール

7:30	12:00	13:00	17:00
月 朝会・教授回診・外来		病棟・検査	自由研修
火 抄読会・朝会・外来		病棟	自由研修
水 抄読会・朝会・手術		手術または病棟	自由研修
木 症例検討・外来		病棟	症例検討
金 抄読会・朝会・手術		手術または病棟	自由研修
土 自由研修			自由研修

その他、指導医とともに週1回程度、救急外来医療(夜間を含む)を経験する